

基本施策Ⅰ 正殿等の早期復元と復元過程の公開

基本施策の目的

首里城は、県民等の心の拠り所であるとともに、年間280万人を超える観光客等が訪れる観光拠点でもあることから、国等と連携して伝統技術等を活用した正殿の早期復元とともに、歴史・文化・観光拠点としての復興の取組や、復興への継続的な関心につなげていく。

目指す姿

1. 国が進める首里城正殿等の復元に向けた工程に対応して、県内に蓄積・承継されている技術が活用され、将来の修復に必要な技術者の育成にもつながっている。
2. 木材や赤瓦製作の原材料など、県内資源を活用した首里城復元が取り組まれることで首里城と県民社会の結びつきが強まり、首里城をより身近に感じることに繋がっている。
3. 首里城の復元の段階的公開・関連イベントが実施され、歴史・文化を知る新たな魅力となっており、県民はじめ多くの観光客等が訪れる場になっている。

主な課題

1. 正殿等復元・修復に必要な伝統技術を有する県内若手技術者の育成
2. 今回の復元における県産材の活用に向けた調査及び将来の修復等に備えた植樹、育樹
3. 県内技術者による赤瓦の製作に向けた調査、研究、情報共有等
4. 復元過程の段階的公開に向けた関係機関との戦略的・一体的な取組
5. 新型コロナウイルス感染症対策及びこれを踏まえた積極的な誘客

達成への道筋

1. 国及び首里城復元に関係する技術者・機関等との連携を深め、より充実した体制を整えて復元事業を継続していくことで、伝統技術を有する人材の確保及び育成を図り、長期にわたる首里城復元とその後の修復等を支えていく。
2. 国や関係団体等の協力を得ながら必要とされる県産材の調査・研究を進め、首里城の象徴的な箇所への復元に県産材等の利活用を目指すとともに、将来の修復等に備えて、県営林及び市町村有林等でイヌマキやオキナワウラジロガシ等の植栽及び適正管理に引き続き取り組む。

基本施策Ⅰ 正殿等の早期復元と復元過程の公開

3. 破損瓦を今回の復元に活用するための研究を進め、復元の歴史の継続性を図る取組を進める。
4. 一方、国等と連携して城郭内の早期公開及び全体の復元進捗に合わせた、いわゆる「観て学び楽しめる復興」に取り組み、首里城の歴史・文化及び観光拠点としての早期復興、魅力向上及び復興への継続的な関心につなげていく。
5. 「ウイズコロナ」の観点から、首里城公園内の新型コロナウイルス感染症対策を適確に実施し、県内観光施設の模範となるよう国と連携して取り組む。

基本施策の体系

Ⅰ 正殿等の早期復元と復元過程の公開

【施策展開】		【施策の方向性】
(1) 伝統技術を活用した施設整備	中期	①首里城の復元・修復を支える人づくり
(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組	短期	①県産木材の調達
	短期	②首里城赤瓦に関する調査研究
	長期	③県民をはじめ国内外から寄せられた思いを形にする取組
(3) 復元過程の公開による観光資源等としての活用	中期	①正殿の復元過程を観る、学ぶ、楽しむことを実現する取組
	短期	②首里城公園内の新型コロナウイルス感染症対策

施策の方向性

(1) 伝統技術を活用した施設整備

① 首里城の復元・修復を支える人づくり

首里城の復元に携わることで伝統技術のさらなる蓄積や継承の機会を提供し、また、相当の期間にわたって携わり、技能の習熟度を高めることで、活躍の場を広げて将来につなげていくため、国と連携して職人の確保を含めた復元、修復を支える人づくりに取り組む。

基本施策Ⅰ 正殿等の早期復元と復元過程の公開

被災した奉神門屋根の復旧工事



復元建物の漆塗装



写真：沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 写真：(一財)沖縄美ら島財団

(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組

① 県産木材の調達

前回復元においても、正殿の正面にある向拝柱や小屋組など象徴的で重要な箇所には県産材であるチャーギ(イヌマキ)やオキナワウラジロガシが使用された。今回の復元においても可能な限り県産材が使用されるよう、森林組合等の協力のもと、国が実施する木材の調査、正殿等の復元に活用できる木材の確保等に連携して取り組む。なお、県産材の使用にあたっては、木材資源の保続に支障がないよう、また、将来の修復等に備え、市町村等の関係機関とも連携し、県営林及び市町村有林でイヌマキやオキナワウラジロガシ等の植栽及び適正管理に引き続き取り組む。

② 首里城赤瓦に関する調査研究

首里城復元に用いる赤瓦は正殿だけでも約5.5万枚となっており、原料となるクチャや赤土は相当量必要であることから、公共事業の建設発生土や適していると考えられる民有地等について、国と連携して調査・確認を加速していく。

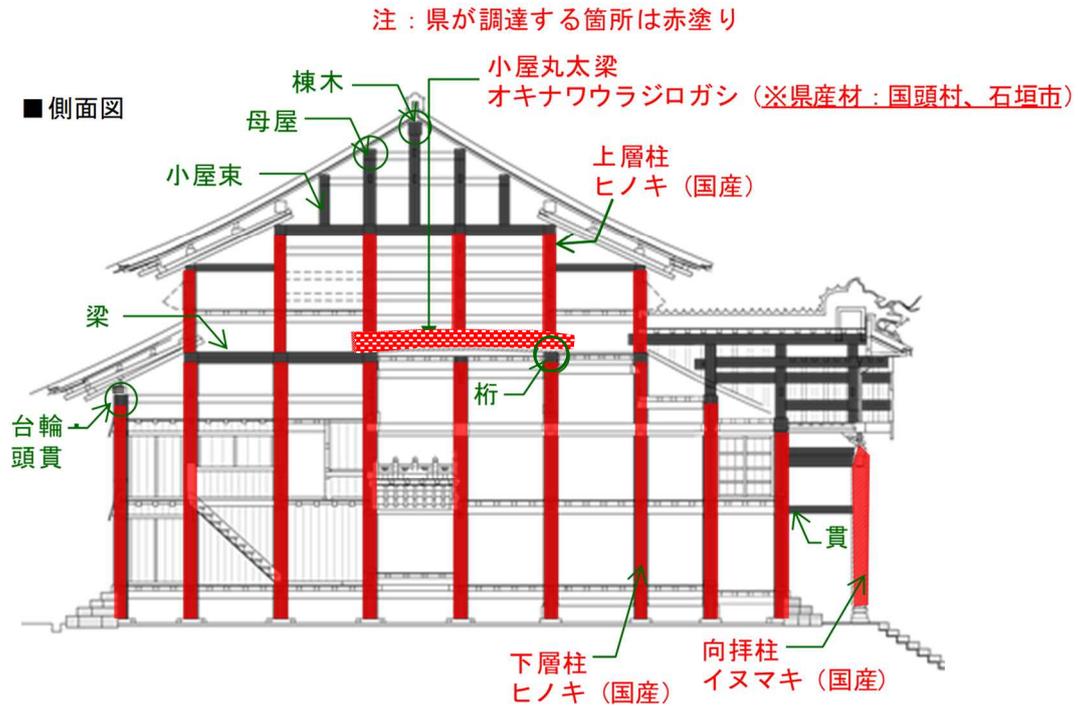
また、県工業技術センターにおいて、赤瓦を焼成した際の赤色の色味や適正な吸水率となるような配合や焼成方法の検討、試験体の評価を行い、令和4年度以降の首里城赤瓦の製作及び国が実施する復元工事につなげる。なお、国と連携して、被災した正殿の瓦をシャモット(焼粉)にして、再利用するための研究にも取り組む。

③ 県民をはじめ国内外から寄せられた思いを形にする取組

首里城の早期復元に向け、国との連携の下、復元工程に合わせて、首里城正殿の木材や赤瓦の調達、大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻、龍頭棟飾等の焼物など屋外彫刻の復元、扁額などの室内装飾の復元その他関連事業について、沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針に基づき、県民をはじめ県内外の多くの方々から寄せられた寄附金を活用して取り組む。

基本施策I 正殿等の早期復元と復元過程の公開

県調達の木材について



県調達木材合計	175本	：製材(引き立て)寸法
上層柱	64本	：φ339mm×3000～4500mm (国産材：ヒノキ)
下層柱	101本	：φ400mm×3500～8500mm (国産材：ヒノキ)
向拝柱	4本	：φ400mm×5000mm (国産材：イヌマキ)
小屋丸太梁	6本	：φ461mm×6500mm (県産材：オキナワウラジロガシ) ※県営林、国頭村有林、石垣市有林から収穫予定



前回復元時の正殿 小屋丸太梁
(オキナワウラジロガシ)
写真：沖縄総合事務局
国営沖縄記念公園事務所



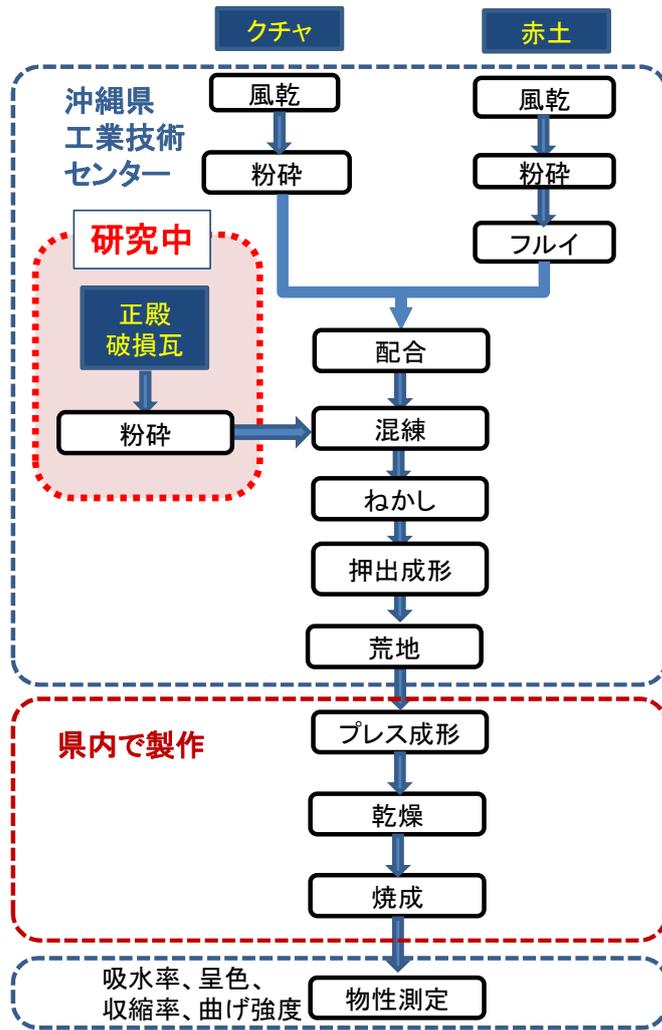
今回復元工事の候補木
国頭村有林内の
オキナワウラジロガシ
(胸高直径約55cm)



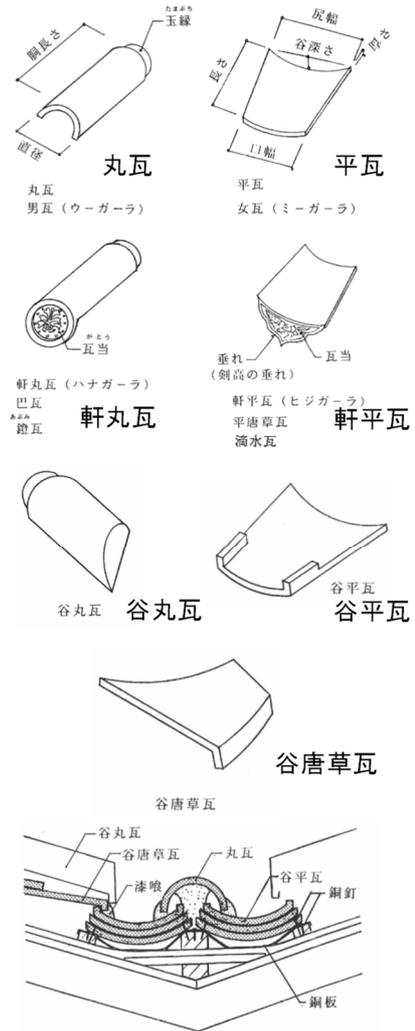
将来に備えた造林地
オキナワウラジロガシ
(10年生)
県営林(名護市源河)

基本施策I 正殿等の早期復元と復元過程の公開

赤瓦試作工程(案)



屋根瓦の種類



沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所「首里城正殿実施設計報告書」(H1.3)

寄附金活用のイメージ



(3) 復元過程の公開による観光資源等としての活用

① 正殿の復元過程を観る、学ぶ、楽しむことを実現する取組

火災直後の復旧において、国は県教育庁と連携して、世界遺産として登録されている正殿遺構を速やかに保全し、仮設施設の整備による観覧及び大龍柱の補修状況を公開するなど、「今しか見られない姿」が現れている。

県においても、国と連携して漆喰シーサーづくりイベント、火災残存物の利用や大画面映像設備等最新デジタル技術を活用した復元に関する展示や説明、プロジェクションマッピング等に取り組み、観光資源としての活用を図る。

また、木曳式、正殿建築起工式など、復元の段階における重要行催事の機会を捉え、県民や観光客等が首里城復元過程に参画できる復元・復興関連イベントを戦略的・一体的に企画・実施していくため、国、市町村や関係団体等と連携して取り組む。これらの、「今だからこそ」できる体験を通じて、琉球王国時代から今に至るつながりを感じ、新たな未来へ思いを馳せる場になるよう取り組み、歴史・文化及び観光資源としての首里城の魅力を高めていく。

② 首里城公園内の新型コロナウイルス感染症対策

「ウイズコロナ」の観点から、新型コロナウイルス感染症対策を適確に講じ、県民をはじめ観光客等を受入れ、県内観光施設の模範となるよう取り組む。

正殿遺構の公開



火災残存物の展示（復興展示室）



火災残存物の展示



火災残存物とかつての姿を説明する説明板

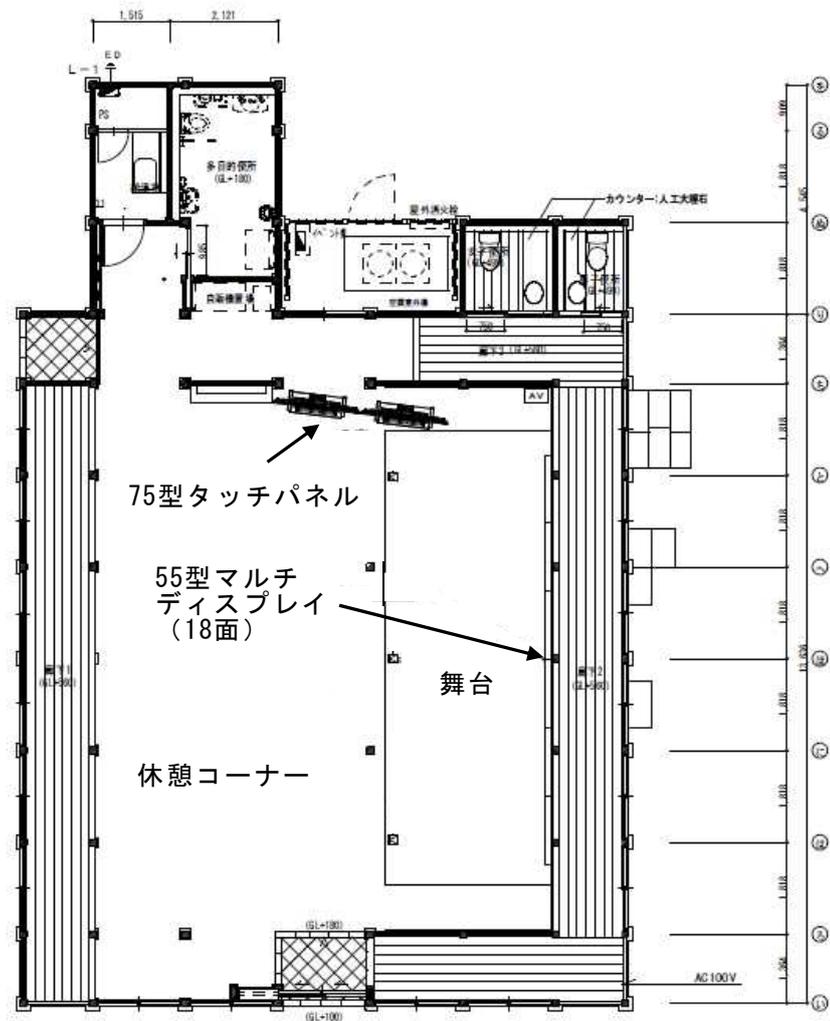


基本施策I 正殿等の早期復元と復元過程の公開

世誇殿におけるデジタル技術を活用した展示



世誇殿仮設映像機器設置イメージ



基本施策I 正殿等の早期復元と復元過程の公開

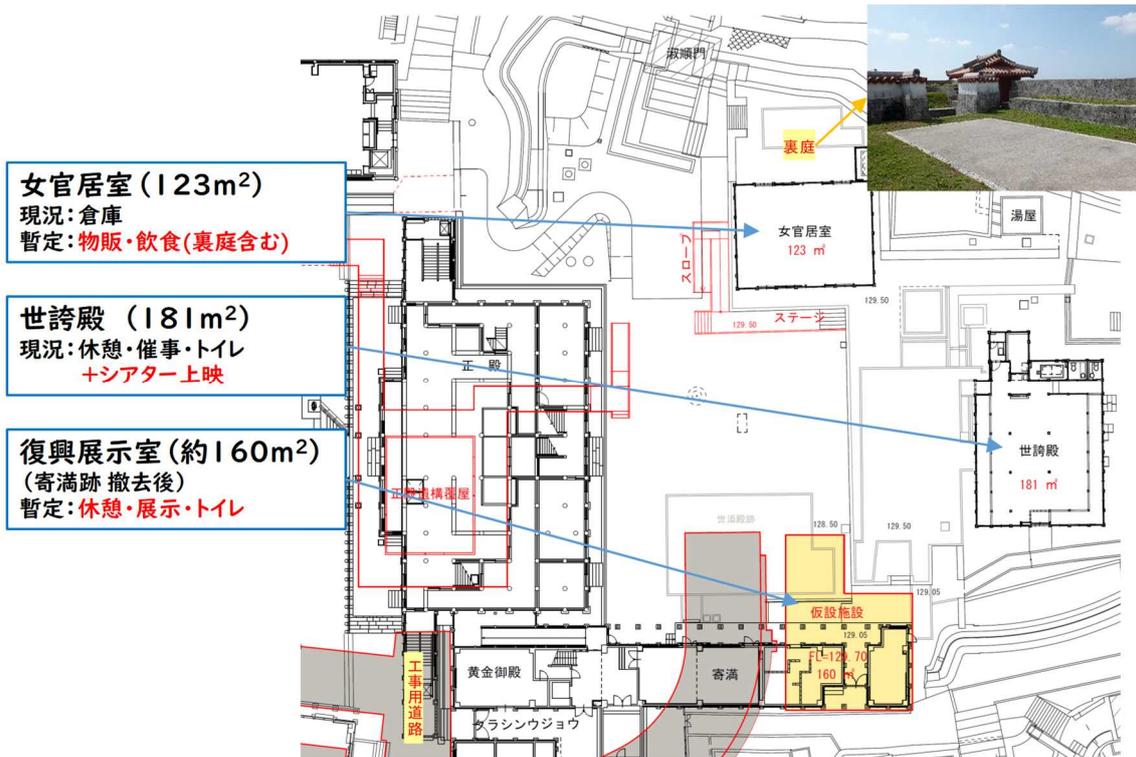
女官居室の売店



女官居室内の情報案内コーナー



復興関連展示施設の配置



基本施策Ⅰ 正殿等の早期復元と復元過程の公開

漆喰はがしボランティアの活動



県民等自主企画による破損瓦の利活用
(壺屋小学校PTA)



破損瓦を活用した漆喰シーサー体験



地域連携イベントでの展示



県立芸術大学学生による演奏



地域青年会による旗頭の演舞



周遊ガイドによる首里城周辺を知る取組



城壁を彩るプロジェクションマッピング



主な関係主体と期待される役割

主な関係主体	期待される役割
<p>県 土木建築部</p> <p>商工労働部</p> <p>農林水産部</p> <p>文化観光スポーツ部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の復元整備に対する連携・協力 ・ 国と連携した県産木材の調達 ・ 国と連携した赤瓦の調達 ・ 県民をはじめ国内外から寄せられた思いを形にする取組 ・ 国等と連携した復元過程の公開、復元・復興関連イベントに関する戦略的・一体的な実施 ・ 「ウイズコロナ」の観点からの新型コロナウイルス感染症対策 ・ 伝統技術の人材育成 ・ 赤瓦の品質に関する調査・研究 ・ 県産木材の収穫に関する調査 ・ 将来の修復等に備えた植栽及び適正管理 ・ 伝統技術の人材育成 ・ 復元・復興関連イベントの観光資源化への連携と情報発信
<p>国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首里城正殿等の復元整備 ・ 県産材や県在来種の調査に関する県との連携 ・ 復興過程の公開、地域振興・観光振興 ・ 県等と連携した復元・復興関連イベントに関する戦略的・一体的な実施 ・ 国営公園の管理と県営公園の管理との連携
<p>那覇市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復元・復興関連イベントへの参画・協力
<p>県民・関係団体及び関係市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復元・復興関連イベントへの参画・協力